

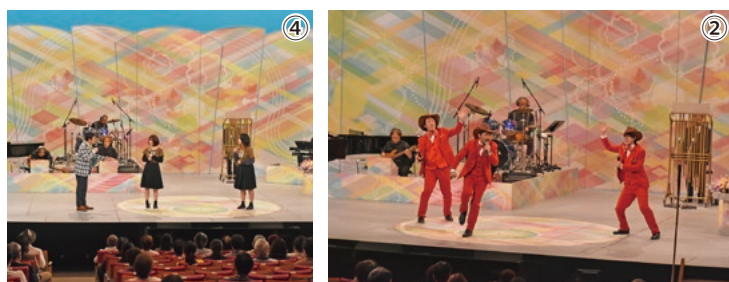


①ラウンドアバウトに流入する車両は、同一方向（時計回り）に進むため、右折車との衝突事故を防ぐことができます。
②信号機がないので、しっかり左右を確認して横断しましょう。

山上町地先にドーナツ状の交差点ラウンドアバウトが開通しました。
これは、ヨーロッパを発祥とする交差点で、低速で円形の交差点に進入することで、安全に進行方向を変えられることが特徴です。
3月31日には、通行方法の説明会を実施。小椋市長をはじめ、近隣の自治会や老人クラブ、幼児園児とその保護者など60人が参加しました。

説明会では、東近江警察署の佐野巡査部長からラウンドアバウトの通行方法や通行時の注意点について説明を受けた後、参加者は実際にラウンドアバウトの横断歩道を横断したり、ちょっとしたバスに乗り込んで試走体験を行ったりしました。
小椋市長はあいさつで、「災害に強く、事故防止にも大きな効果が期待されます。慣れるまでは十分に気を付けて利用してほしい」と呼びかけました。

安全で災害にも強いラウンドアバウトを設置



①特別賞を受賞した（中段左から）村田真平さん、加朱将也さん、村上那由汰さんと応援団、卒業生の皆さん
②お揃いの赤いスーツで会場を沸かせました。
③④小田切千アナウンサーの軽妙かつ温かいトークとともに出場者と会場が一体となつてのど自慢を楽しみました。



日曜お昼の生放送「NHKのど自慢」が東近江市八日市文化芸術会館で開催され、その様子が全国に生放送されました。
出場したのは、180組が参加した予選会を勝ち抜いた18組の皆さん。
当日は、ゲストに演歌歌手の三山ひろしさんとシン

ガーソングライターのmiwaさんを迎え、多くの観客が見守る中、それぞれ思いのこもった自慢の歌声を披露いただきました。
『それが大事（大事MANブラザーズバンド）』を熱唱した八日市高等学校の教員の皆さんが見事特別賞を受賞。3人からは、「コロ

ナ禍で制限のある中でも、学校生活を楽しんでほしいという思いで歌いました。卒業生、在校生、新入生すべての生徒たちへ送るエールです」とコメントをいただきました。コロナに負けないよう東近江市から全国へ元気を届けることができました。

八日市文化芸術会館で熱唱 NHKのど自慢を開催

希望を胸に膨らませ新しい生活がスタート 入園式・入学式



五個荘あさひ幼稚園

4月7日、市内認定こども園で入園式が挙行されました。五個荘あさひ幼稚園では、35人の新しいお友達が入園。新しい環境に緊張しながらも、たくさんのお友達や先生に元気な笑顔を見せました。笠川園長先生は、「皆さんの入園を楽しみにしていました。砂場や滑り台などで元気いっぱい遊びましょう」と園児に呼びかけました。

- ①園長先生のお話を聞く園児たち。これから楽しい園生活が始まります。
- ②担任の先生たちと一緒に歌を歌いました。

みつくり 箕作小学校

4月11日、市内小学校で入学式が挙行されました。箕作小学校では、89人の生徒が新たに入学しました。新入生の皆さんは、校長先生の話真剣に聞き、元気よく返事をしていました。在校生代表の門野倫子さん（6年生）は、「困ったことがあったら先生や6年生に声をかけてください。これから明るく楽しい箕作小学校を作っていきます」と優しく言葉をかけました。



③名前を呼ばれて大きな声で「はい!」とお返事。元気な声が体育館に響き渡りました。
④6年生からのメッセージを真剣に聞いている新1年生。

FMひがしおうみが移転 近江鉄道八日市駅内でにぎわいの創出へ

「FMひがしおうみ」のスタジオ移転・開局式が近江鉄道八日市駅で行われました。

これは、第2期東近江市中心市街地活性化基本計画に基づく「(仮称) えきなかラジオプロジェクト事業」として、近江鉄道八日市駅周辺を中心としたにぎわいの創出と近江鉄道の利用促進を

図るため、同駅構内にスタジオが移転されたものです。

今後も地域情報や暮らしに役立つ生活情報、経済情報、行政情報などを発信されます。

開局式テープカットの様子
新スタジオは、放送の様子などを駅ホールから見学してもらうことができます。

